

聖書箇所:ピリピ人への手紙3章12~16節  
『目標を目指して一心に走ろう』

【1】 約束を握って

- ・ 困難を乗り越えることを可能にする「約束」
- ・ クリスマンに与えられている約束
  - 「私たちの国籍は天にあります。」(ピリ 3:20a)
  - すでに天の国籍を持っているという約束
- ・ 約束が与えられた私たちへの勧め
  - 競技場を走る競技者のように走ろう(参照 I コリト 9:24~27)。

【2】 競技場を走る競技者として

- ・パウロは自分を現役の競技者にたとえた
  - 告白：ゴールを目指して競技中である
  - 「私はまだ得ていない」「私はまだ完全にされていない」
- ・ レースを走り続けるため必要なこと
  - 自分の目指すゴールを正しく設定する
  - ゴールと競争相手どちらを見るか(ウサギと亀のたとえ)
- ・ パウロの目指したゴール
  - 自分ではなく、他人でもなく、イエス・キリストを目標とした
  - イエスに似た者とされることを目指し続けた

【3】 どこに向かって走っていますか？

- ・ 競技者にとって大切なこと～自分のレースに集中する～
  - 心配事の対処法
    - 神が道を整えてくださるという神への信頼(箴言 3 章 5-6 節)
  - 過去の失敗や後悔の対処法
    - パウロ自身キリスト者を迫害した過去をもつ(使徒 22:3-5)
    - 現在は、驚くばかりのキリストの恵みの福音を宣べ伝える者へ
    - 主にあって過去と向き合うとき、出来事の意味が変えられる

▷あなたは今、どこを向き、何に向かって走っていますか？ イエス・キリストに向かって、前向きに、一心に走り続けることができますように。

